

4 水害の歴史と対策事業

昭和22年のカスリーン台風をはじめ、数年に1回は台風等による浸水被害にみまわれ、そのたび、浸水被害を軽減する事業を行い、再度災害発生の防止に努め、効果を発揮してきました。しかし、近年は毎年のように整備水準を超える規模の降雨による被害が発生しているため、未だ浸水被害は解消されておらず、緊急的かつ重点的な整備が必要な状況です。



● 洪水名
● 県内浸水被害戸数

■ 河川激甚災害対策特別緊急事業
▶ 河川名 県施行
▶ 河川名 国施行

■ 床上浸水対策特別緊急事業
▶ 河川名 県施行

■ 災害復旧助成事業
▶ 河川名 県施行

- <浸水被害家屋数は「埼玉県地域防災計画、水害統計」他による>
- 主な事業**
 - 昭和21年～河川局部改修事業着手
 - 昭和22年～中小河川改修事業着手
 - 昭和24年 利根川改修改訂計画
 - 昭和30年～新芝川放水路着手
 - 昭和34年～小規模河川改修事業着手
 - 昭和40年 工事実施基本計画策定(荒川水系、利根川水系)
 - 昭和46年～地盤沈下対策河川事業(排水機場設置)着手
 - 昭和58年～流域貯留浸透事業着手(新河岸川流域、中川・綾瀬川流域)
 - 昭和54年～総合治水対策特定河川事業 新河岸川流域
 - 昭和55年～総合治水対策特定河川事業 中川・綾瀬川流域
 - 平成11年 鴻山ダム完成
 - 平成15年 台角ダム完成
 - 平成18年 河川整備計画策定
 - 平成30年～令和2年 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策
 - 令和元年～八州川流域緊急治水対策プロジェクト
 - 令和2年 県土強靱化緊急治水対策プロジェクト
 - 令和2年 ハツ場ダム完成
 - 令和2年～令和3年 流域治水プロジェクト
 - 令和3年～令和7年 防災・減災、国土強靱化のための5か年強化対策

